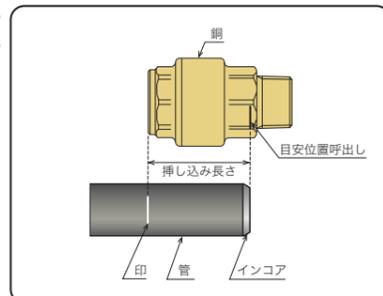


## OPW・OPポリジョイントの接続方法

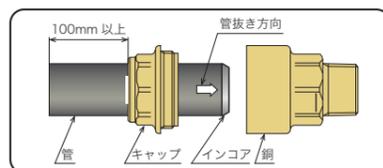
- (1) ポリ管がJIS K 6762の水道用ポリエチレン二層管1種(以下、管)であることを確認してください。管の内外面にキズの少ない箇所を選んで、パイプカッタ等で管軸に対して直角に切断してください。
- (2) OPWの場合は、樹脂製の耐震性能強化型インコア(以下、インコア)を管に挿入してください。インコアに面が付けてありますので、面取りは不要です。OPの場合は、インコアを使用しないので、切断面の外周を面取り器等を使用し、管の肉厚の1/2以上の面取りを行ってください。面取りで発生したバリはきれいに取り除いてください。
- (3) 継手の胴部に鋳出ししてある目安位置線または、右表にて、挿し込み長さを確認し、必ず管に白マジック等でマーキングを付けてください。
- (4) 接続は管の内外面に付着した泥などを、ウエス等で拭き取って、管に水等をつけ、マーキング面までまっすぐ挿し込んでください。回転させながらの挿し込みは行わないでください。
- (5) 管挿入後、管と継手を強く引張り、離脱防止を確認後、受口の隙間に砂等が入らないように、ビニールテープを巻いてください。



寸法	13	20	25	30	40	50
挿し込み長さ(mm)	45	52	62	79	90	103

## OPW・OPポリジョイントの分解方法

- (1) 管をキャップから100mm以上残した所でパイプカッタ等で切断します。
- (2) キャップと管をレンチ等で胴から取り外します。
- (3) キャップと管を外すには、管を図の矢印方向へ抜いてください。  
・OPポリジョイントを再使用する場合には、必ずキャップと胴を清掃し、「リングパッキン」「OPリング」「座板」「インコア」を全て新しいものと交換してください。



## 施工上の注意

- 凍結が予想される場合には、保温などの凍結防止策を施してください。
- ねじ部は鋭利な為、直接素手で握らないでください。
- レンチをご使用の際はレンチかかり以外の場所を挟まないようにしてください。
- 他種管及び栓類と接合するときは、継手の胴と他種管等を先に接合してください。
- 一度使用した継手の再使用は部品等を交換してください。

## 標準仕様

- OPポリジョイントは以下の条件でご使用ください。

  1. 適用管種/水道用ポリエチレン二層管1種(JIS K 6762)  
水道用硬質塩化ビニル管(JIS K 6742)
  2. 使用流体/水道水
  3. 使用温度/常温(20℃±15℃)
  4. 使用圧力/0.75MPa以下



修理などでパイプを圧着した場合の補修としてご使用ください。

暮らしと、水をむすぶ…。



## 前田バルブ工業株式会社

本社 〒455-0027 名古屋市港区船見町29番1  
 本社営業所 名古屋市港区船見町29番1  
 〒455-0027 TEL 052-618-3800  
 FAX 052-618-3801  
 札幌営業所 札幌市東区北三十六条東15丁目1番1号  
 〒007-0836 TEL 011-742-2275  
 FAX 011-742-3232  
 岡山営業所 岡山市北区青江5丁目22-31  
 〒700-0941 TEL 086-230-0763  
 FAX 086-230-0764  
 九州営業所 福岡市博多区西月隈3丁目3番66号  
 〒812-0857 TEL 092-474-8818  
 FAX 092-474-8824  
 港工場 名古屋市港区船見町29番1  
 〒455-0027 TEL 052-618-3811  
 FAX 052-618-3812

URL <https://www.mvk.co.jp>



ぼるんくろらん  
前田バルブ工業株式会社マスコットキャラクター

※記載の品番・仕様などは改良のため、予告なく変更する場合がございます。



ISO 9001:2015 09310  
ISO 14001:2015 09311  
本社サイトでの登録です

# ポリジョイントシリーズ

## ワンタッチ型金属継手

- 水道用ポリエチレン管金属継手(OPW)  
耐震性能強化型WSA B 013・JWWA B 116
- 水道用ポリエチレン管金属継手(OP)  
JWWA B 116
- 水道用硬質塩ビ管金属継手(OP-V)



# MAEDA VALVE

## OPWポリジョイント OPポリジョイント OP-V(塩ビ管)ジョイント



※青銅鑄物(銅)材料は、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の資源循環型材料です。

# OPWポリジョイント OPポリジョイント

水道用ポリエチレン二層管金属継手  
耐震性能強化型WSA B 013規格品

水道用ポリエチレン管金属継手

<p>鋼管用おねじ 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-G OP-G</b></p>	<p>鋼管用めねじ 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-F OP-F</b></p>	<p>分止水栓用 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-J OP-J</b></p>	<p>メータ用ユニオン 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-M OP-M</b></p>
<p>90°バンド 13.20.25mm <b>OPW-90B OP-90B</b></p>	<p>60°バンド 13.20.25mm <b>OPW-60B OP-60B</b></p>	<p>90°ロングバンド 13.20.25mm <b>OPW-90LB OP-90LB</b></p>	<p>60°ロングバンド 13.20.25mm <b>OPW-60LB OP-60LB</b></p>
<p>PPエルボ 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-L OP-L</b></p>	<p>PP45エルボ 20.25.40mm <b>OPW-45L OP-45L</b></p>	<p>PPソケット 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-S OP-S</b></p>	<p>PPチーズ 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-T OP-T</b></p>
<p>伸縮メータ用 20.25mm <b>OPW-SM OP-SM</b></p>	<p>回転式鋼管用おねじエルボ 13.20.25mm <b>OPW-NGL OP-NGL</b></p>	<p>耐震性能強化型インコア 13.20.25.30.40.50mm <b>OPW-IN</b></p> <p>耐震性能強化型にするためには、 インコアを挿入してください (OPW品番には、同梱しております)</p>	<p>地震威力吸収型フレキシブル継手 20.25mm <b>HS-MPOWT</b></p> <p>サドル付分水栓との 組み合わせで 使用します</p> <p>フレキ長 150mm</p>

# OP-Vポリジョイント

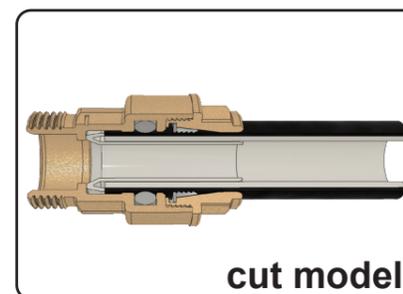
水道用硬質塩ビ管金属継手

<p>PVソケット 13.20.25.30.40.50mm <b>OP-PVS</b></p> <p>ポリ管×塩ビ管</p>	<p>PVエルボ 13.20.25.30.40.50mm <b>OP-PVL</b></p> <p>ポリ管×塩ビ管</p>	<p>V分止水栓用 13.20.25.30.40.50mm <b>OP-VJ</b></p>	<p>V鋼管用おねじ 13.20.25.30.40.50mm <b>OP-VG</b></p>
--	---	--	---

上記製品以外にもビニル管用に対応できますので、お問い合わせください。

## OPW・OPポリジョイントの特長

- OPW・OPポリジョイントはワンタッチの挿し込み式になっていますので、配管の為の特別な技術を全く必要とせず、短時間で簡単に確実な施工が出来ます。
- 耐震性能強化型インコアを挿入することで、給水システム協会が耐震性能を強化するために制定したWSA B 013に適合しています。(OPW)
- 接続後もパイプが自由に回転する為、ねじれの心配がありません。
- 特殊なリングパッキンの働きによって、止水効果はパーフェクト、さらに吸着性が優れているので、負圧発生時にも汚水の吸引等の心配はありません。
- 特殊なOPリングを使用しているため、パイプグリップが確実に行なわれ、抜群の抜け防止性能を発揮します。
- 塩ビ管用にも接続可能!!  
OPリング等の部品を塩ビ管用と交換する事によって、塩ビ管用の接続においてもポリエチレン管同様に挿し込むだけで出来ます。



部品番号	部品名称	材質
1	胴	CAC900系(鉛フリー銅合金)
2	キャップ	CAC900系又はCAC406
3	リングパッキン	NBR
4	OPリング	C3531 又は CAC902C
5	座板	PVC 又は PE
6	耐震性能強化型インコア	HDPE

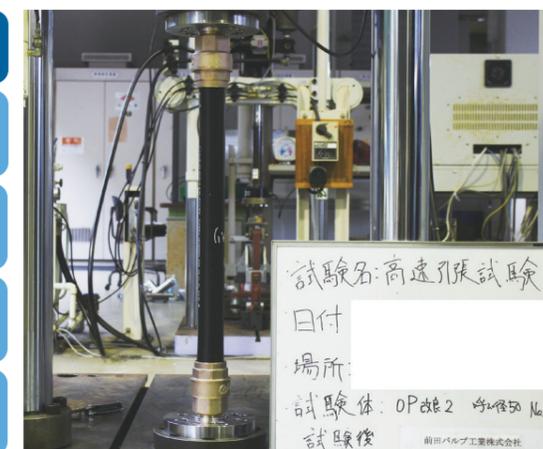


前田バルブのワンタッチ継手は、  
発売当時から耐震性の高い試験を繰り返しており、  
業界で定めた耐震性能を示す性能項目にもクリアしております。

## OPWポリジョイントは耐震実験の実証済み

OPWポリジョイントは、JWWA B 116とWSA B 013に定められた性能項目にすべて合格していますので、「耐震性能強化型継手」としてご使用いただけます。管の限界まで達し一切の離脱はありません。

性能項目	判定
高速引張性能	管路に急激な速さで引張力が加わった時に十分な性能を有していること 適合
離脱防止性能	管路に移動距離の大きな地盤変状が発生した場合、管が変形(降伏)するまで、十分な性能を有していること 適合
圧縮性能	継手が固定状態で圧縮側に地盤変状が起きた場合、十分な性能を有していること 適合
伸縮性能	繰り返し荷重が発生するような地盤変状が起きた場合、十分な性能を有していること 適合



▲高速引張試験例